

Kawasaki

令和2年6月1日発売(偶数月1日発売)第22巻第4号(通巻144号)



カワサキ乗りたちへ [カワサキバイクマガジン]

2020.7 vol.144

性能、メカニズムから
新たな展開まで最新情報に迫る

- Z H2 & Ninja 1000SX 徹底試乗
- Ninja ZX-25Rの全貌を撮影!
- アフターパーツメーカーの動向
- 一般ライダーが語るリアルな現状 etc.

Ninja vs Z

2大ブランドの今



お宝探訪



希少純正サイドカー
650-TW1サイドカー

ZX-10RR・2020鈴鹿8耐テスト車

10代のカワサキ乗り：所有車はER-4n

公道1,000kmインプレッション：KLX230

機能&装備の実力チェック：ツアラーのスクリーン

[ジャパニーズロード] 千葉県/房総半島 東京湾いなか道クルージング



STRIKER Z900RS

ストライカーのパーツが、ほぼフル装備状態のZ900RS。低く構えたセパレートハンドルがスパルタン。本文にあるとおり、そのほとんどは新氏自身が欲しいと感じたパーツ。だが、ユーザーの声を無視しているわけではない。カラーズインターナショナルは、パーツメーカーとしてだけでなく、グループ内にカスタムショップのストライカーワークスも展開する。そこで得たユーザーからの要望をダイレクトに反映させたパーツを、別ブランドのストライカーワークスからリリースしているのだ。この車両に装着されているシートやグラブバーは、ストライカーワークスの製品だ。



↑グラブバーはチタン製で、なんと手曲げて製作。機能面で意味があるかはさておき、この質感の高さには、無条件にひかれるものがある。ハイエンドカスタムに相応しいパーツだ

Z900RS新製品

ストライカーではZ900RS用パーツを数多くラインナップ。同社のパーツを組み合わせ、フルカスタムの製作が可能レベルに達しているが、まだ新製品のアイデアがつかないというから驚かされる。ここで紹介している4点は、すべてプロトタイプで近日発売予定。カスタム心をくすぐるファッション性と、高い機能を両立したモノばかりだ。



↑エンジンハンガーを質感の高いアルミピレットで製作。スタイリッシュなうえに剛性アップも見込める。ヘッド側は販売中、シリンダー側は近日発売



↑ストライカーワークスのチタンカスタムグラブバー。カスタムを進めると、純正のグラブバーが見失うというユーザーの声にこたえて製作された



↑Gストライカー swingarm のオプションに、新型チェーン引きが登場。チェーン調整が容易で、アビランスも高い。セラコート仕様もテスト中



↑一般的なローレット加工ではなく、総削り出しで製作し、絶大なグリップを実現したステップバー。ストライカーのステップのオプションパーツ

増え続けるZ900RS用パーツ

好評ストライカーパーツ

ストライカーはマフラーメーカーとしてスタート。現在では、ピレットパーツや外装パーツ、プロテクターなど多様なパーツをラインナップする。定番商品のスペシャルステップキットは、車種や用途に合わせて吟味されたポジション、高いデザイン性、手ごろ感のある価格などが特徴のパーツだ。その中でもSTC(スポーツ・ツーリング・コンセプト)タイプは、足とステップバーの接触面に着目し、ライディングにおける乗り手の疲労軽減にも配慮されている。ストライカーならではの新概念のステップとしている。



↑大好評のZ900RS用セパレートハンドルキット。無理のないポジション、ハンドルロック使用可能。周辺パーツとの干渉も配慮した、セパレートハンドル化にもなる問題を解消するキット

→ニンジャ 1000SX用パーツも開発を行っている。定番パーツのステップは、適合を確認中で、近々発表の見通しであるとのこと。必要なパーツは、しっかりと作るのがストライカーの流儀なのだ



←エッジの効いたシェイプはアビランス抜群のストライカーエアロデザイン“SAD”リヤフェンダー。鋭角的なフォルムが強調された、ニンジャ 1000SXに、ぜひ装着したいパーツ。こちらも現在、適合を確認中とのこと

にラウンドタイプサイレンサーが似合うと思っていたんです。ですが、異径形状のサイレンサーもラインナップしてみたところ、こちらの予想した以上に支持していただいた。他のメーカーさんも、さまざまなスタイルのマフラーを作られていますし、それぞれが支持されている。このバイクのユーザーの好みは、いい意味でバラバラなんだと感じています。それだけ多種多様なカスタムに対応できるキャパシティの大きなバイクということだと想います」

「Z900RSは、まだイジっていききたいバイクですね。やりつくして、自分が最高だと考えるバイクを作るのは、一つの正しい答えだろう。新氏のセンスに共感を覚えるユーザーにとっては、理想のバイクであるに違いない。」

「Z900RSは、まだイジっていききたいバイクですね。やりつくして、自分が最高だと考えるバイクを作るのは、一つの正しい答えだろう。新氏のセンスに共感を覚えるユーザーにとっては、理想のバイクであるに違いない。」

「Z900RSは、まだイジっていききたいバイクですね。やりつくして、自分が最高だと考えるバイクを作るのは、一つの正しい答えだろう。新氏のセンスに共感を覚えるユーザーにとっては、理想のバイクであるに違いない。」

たなんて全然思いません。走らせていると、次はあしたいとアイデアが浮かんでくるし、こうしたらいいんじゃないか?と考えることがすごく楽しい。レースもやりたいですね。自分の中で目標タイムがあって、それがクリアできたらテスト・オブ・ツクバに出ようかと考えているんです。Z H2もおもしろい素材ですよ。あの車体にあのパワー、ワクワクします。すでに、パーツ開発に着手しています。走って楽しいバイクに仕上げたいですね!」

「そうやって、楽しそうに笑う新氏。ユーザーにカスタムの楽しみ方を提案するのもパーツメーカーの役割。だがそれ以前に、まず新氏自身がバイクを楽しんでいる。だからこそ、ストライカーのパーツには、魅力があふれているのだろう。」

「その点、Zシリーズはカスタムしたいと思わせるものがあります。いい意味で、どこかアンバランスな部分を秘めている。そこにひかれま

「その点、Zシリーズはカスタムしたいと思わせるものがあります。いい意味で、どこかアンバランスな部分を秘めている。そこにひかれま

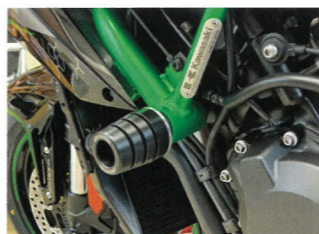
「その点、Zシリーズはカスタムしたいと思わせるものがあります。いい意味で、どこかアンバランスな部分を秘めている。そこにひかれま

「その点、Zシリーズはカスタムしたいと思わせるものがあります。いい意味で、どこかアンバランスな部分を秘めている。そこにひかれま

カワサキ用製品が多いストライカーブランド

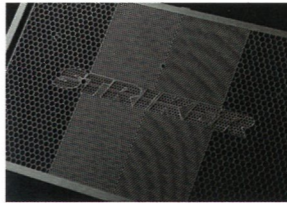
カワサキ車用のカスタムパーツが多いブランド、ストライカー。近年のZシリーズとニンジャシリーズのパーツもラインナップされている。これらの人気シリーズ用パーツの現状と今後を、新辰代表が語る

浅倉恵介=写真・文
photographs & text by Keisuke Asakura



↑この春、注目を集めるニューモデル Z H2用パーツの開発にも着手。その第一弾となるのが、このガードスライダー。マシンの保護に効果絶大

↓ストライカーのZ H2用パーツは、続々登場予定。ラジエーターコアガードも近日発売。新氏はZ H2に強い興味を持っているとのこと今後も期待できる



取材協力
カラーズインターナショナル
マフラーをはじめとして、ステップやハンドルなど車体まわりのパーツ、外装パーツなど幅広いラインナップを有するストライカーブランドを展開。代表の新辰氏は国際ライダーであり、自らの経験を自社パーツの開発に活かしている
045-949-1345
http://www.striker.co.jp



↓ストライカーを代表するパーツがマフラーとステップで、さらにGストライカーのブランド名でスイングアームもラインナップ。Z900RS用にもこれらのパーツがラインナップされる

